

記念講演会

デザインありてこそ — 焼物から窯業へ

— 講師 — 森仁史氏

(本展監修者、金沢美術工芸大学 柳宗理記念デザイン研究所)

二〇一六年九月十日(土)

十四時〜十五時三十分

会場 / 兵庫陶芸美術館 研修棟一階セミナー室

参加費 / 無料 (観覧券の半券必要)

定員 / 一〇名 (事前申込制・先着順)

※詳しくは裏面をご覧ください



[写真] 《秩父宮邸陶器製裝飾電燈台》陶磁器試験場 1927(昭和2)年/滋賀県信楽窯業技術試験場蔵



土と語る、森の中の美術館
兵庫陶芸美術館
The Museum of Ceramic Art, Hyogo

記念講演会／デザインありてこそー焼物から窯業へ

明治時代における日本の陶磁器製造は、繊維工業に次ぐ主要な産業のひとつとして数えられていました。その一部は、美術工芸品として位置づけられました。一方で、大半をしめた産業陶磁は、市場の求めに応じた、優れたデザインの数々を生み出しました。

「セラミックス・ジャパン」展の出品作品を通じて、明治維新から第二次世界大戦までの陶磁器デザイン 70 年の歩みを振り返り、魅力もお話いただきます。

講師 | 森仁史氏 (本展監修者、金沢美術工芸大学 柳宗理記念デザイン研究所)

1987 年早稲田大学大学院文学研究科博士課程後期修了。松戸市教育委員会学芸員、金沢美術工芸大学大学院教授を経て、2016 年より金沢美術工芸大学 柳宗理記念デザイン研究所シニア・ディレクター。また、「セラミックス・ジャパン 陶磁器でたどる日本のモダン」展を監修。主な著書は『ジャパニーズ・モダンー剣持勇とその世界』『日本〈工芸〉の近代』、共著に『日本デザイン史』『近代日本デザイン史』など。

◆ お申込みについて

ご参加には事前にお申し込みが必要です。チラシ下部の参加申込書の各欄にご記入のうえ、FAX か郵便でお送りください。お電話または当館ホームページからもお申込みいただけます。

[お申込先] 兵庫陶芸美術館
〒669-2135 兵庫県篠山市今田町上立杭 4
TEL : 079-597-3965(直通) FAX : 079-597-3967
URL : <http://www.mcart.jp/>
E-MAIL : togei@pref.hyogo.lg.jp

◆ 兵庫陶芸美術館へのアクセス

[自動車の場合] ※無料駐車場がございます。

- ・舞鶴若狭自動車道・三田西ICより約15分。または丹南篠山口ICより約20分。
- ・中国自動車道・滝野社ICより国道372号を東へ約30分。
- ・阪神方面より国道176号を北上、三田市四ツ辻信号を左折約15分。

[JR・バスご利用の場合]

- ・福知山線「相野駅」下車(大阪駅から約50分)。
相野駅前より神姫グリーンバス「兵庫陶芸美術館」行きまたは「清水」行き乗車約15分。「兵庫陶芸美術館」にて下車。
- ・7月23日(土)から11月27日(日)までの土・日・祝に限り、JR福知山線「篠山口駅」から直通バスが運行。



◆ 参加申込書 | 記念講演会「デザインありてこそー焼物から窯業へ」 9月10日(土) 14:00～15:30

ふりがな お名前	*必須	申込人数	*必須	ご住所 (市区町村まで)	*必須	都道 府県	市区 町村
ご連絡先	TEL *必須	FAX *FAXでお申込みの方は必須	E-MAIL				

【個人情報の取扱い】 本講演会の参加申込みに係る個人情報は、お客様への「当館からの連絡・お知らせ」のみに活用し、これらの目的以外には使用しません。